留萌市議会の概要

（令和５年度）

北海道留萌市議会事務局

目　　次

○ 市名の由来
○ 市　章
○ 市の木、市の花
○ 市民憲章
○ 都市宣言

Ⅰ　市 勢

１．留萌市の概要 …… １
２．主な産業 …… ３
３．財政状況 …… １４
４．行政組織 …… １８

Ⅱ　議 会

１．議会の構成 …… ２０
２．委員会 …… ２２
３．議会の活動状況 …… ２３
４．議員報酬等 …… ２５
５．議会関係予算 …… ２６
６．議会事務局の構成 …… ２６

○ 市名の由来

アイヌ語のルルモッペが語源。ルルは（潮）モは（静）ヲッは（入る）ペは（所）のこと。「潮の静かに入る所」という意味から名付けられている。

○ 市　章

留萌の「ル」を図案化したもので、菱形は一粒の種が固い土を割り萌え出てきて葉を形づくったことを表わし、同時に北海道の北の図案にも通じ、北海道留萌の発展性を表わしている。

○ 市の木、市の花

市の木：アカシア

市の花：ツツジ

市の木アカシア及び市の花ツツジは、昭和 52 年 10 月本市の開基 100 年、市制施行 30 周年を記念して制定されたものである。

○ 市民憲章

わたくしたちは美しい日本海と留萌川にそう山々の緑にかこまれた留萌の市民です。
港を中心に栄える産業都市、豊かで健康な文化都市がわたくしたちのねがいです。
このねがいを実現するため市民憲章をさだめます。

1．海の資源や山の緑を大切にして美しい市にしよう。

1．人に迷惑をかけず公共の物を大切にして清潔な市にしよう。

1．きまりを守り、みんなでたすけ合う秩序ある市にしよう。

1．働くことによろこびをもって、仕事に精を出し豊かな市にしよう。

1．丈夫なからだとあかるい心をもち、平和な市にしよう。

○ 都市宣言

・安全都市宣言（昭和 37 年 10 月 3 日）

・平和都市宣言（昭和 59 年 5 月 3 日）

・暴力追放・防犯都市宣言（平成 4 年 12 月 15 日）

・健康都市宣言（平成 17 年 10 月 1 日）

１．留萌市の概要

留萌市は、北海道の北西部に位置し、慶長年間に松前藩によるアイヌの人たちと交易するために開かれたルルモッペ場所が始まりとされ、ニシン漁とともに発展してきました。

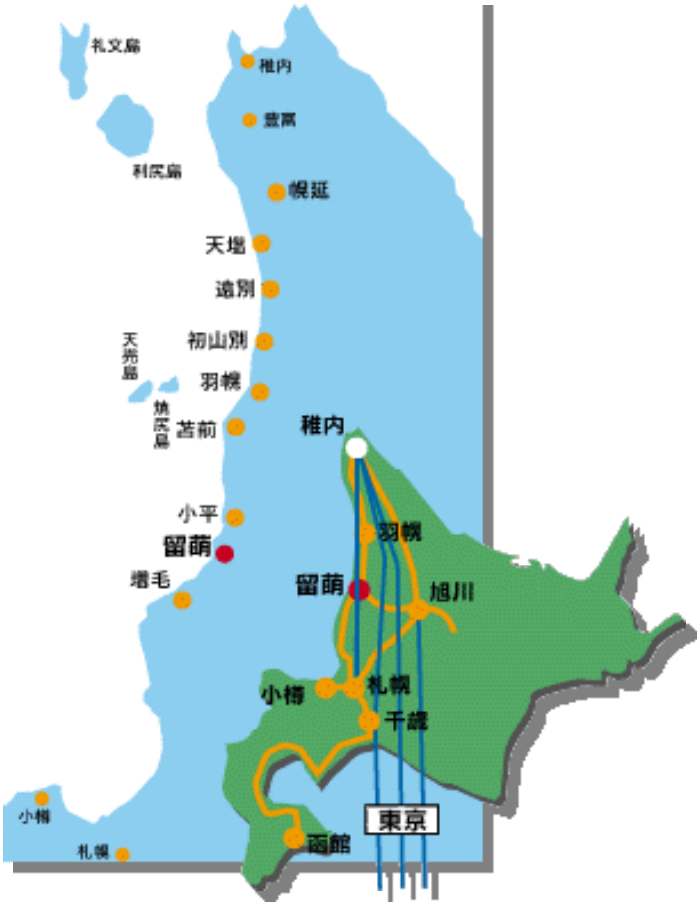
日本一の生産量を誇る「かずの子」をはじめとした水産加工業、国の重要港湾「留萌港」と国道２３１号、２３２号、２３３号の３路線の結束点、さらに高規格幹線道路留萌深川自動車道の整備といった交通・物流の拠点、国や北海道の官公庁が集積しています。

市の地形を概観すると、東西に走る留萌川を中心に両翼には平原、丘陵が続き、南側の地形は比較的高度のある山並みがあり、北部は低位な丘陵地です。

豊かな自然に恵まれた留萌市は、西には日本海、南北には暑寒別天売焼尻国定公園が連なり、暑寒別山系をはじめ夢の浮島といわれる天売･焼尻が望まれます。

特に晴れた日には、遠く利尻・礼文の島影が夕陽の輝く日本海に浮かぶ姿が見られ、風光明媚なマチです。

北緯	43 度 45 分 23 秒 －43 度 59 分 37 秒
東経	141 度 36 分 28 秒 －141 度 54 分 03 秒
土地面積	297.81 ㎢



（２）人口の推移（市制施行から）

区分 年次	世帯数	人口			備考
		総数	男	女	
昭和　22　年	6,075	30,057	14,930	15,127	臨時国勢調査・市制施行（10.1）
30　年	7,030	35,797	17,900	17,897	国勢調査（10.1）
42　年	13,437	42,469	21,041	21,428	住民登録（9.30）
50　年	11,404	36,882	17,899	18,983	国勢調査（10.1）
55　年	12,001	36,626	17,743	18,883	〃
60　年	12,009	35,542	17,249	18,293	〃
平成　2　年	11,716	32,429	15,722	16,707	〃
7　年	11,624	30,060	14,486	15,574	〃
12　年	11,767	28,325	13,679	14,646	〃
17　年	11,666	26,826	12,959	13,867	〃
22　年	11,044	24,457	11,679	12,778	〃
27　年	10,402	22,221	10,516	11,705	〃
令和　2　年	9,816	20,114	9,649	10,465	〃

出典：国勢調査及び留萌市統計書

（３）産業別就業人口

区分 年次	第１次産業		第２次産業		第３次産業		分類不能		合　計
		構成(%)		構成(%)		構成(%)		構成(%)	
平成　2　年	763	4.87	4,137	26.43	10,743	68.62	12	0.08	15,655
7　年	628	4.11	4,308	28.18	10,333	67.61	15	0.10	15,284
12　年	503	3.46	4,153	28.61	9,848	67.85	11	0.08	14,515
17　年	489	3.61	3,371	24.87	9,637	71.09	58	0.43	13,555
22　年	395	3.43	2,508	21.75	8,533	73.99	96	0.83	11,532
27　年	358	3.31	2,200	20.35	8,213	75.95	42	0.39	10,813
令和　2　年	315	3.28	1,896	19.75	7,344	76.49	46	0.48	9,601

出典：国勢調査

２．主な産業

（１）農業

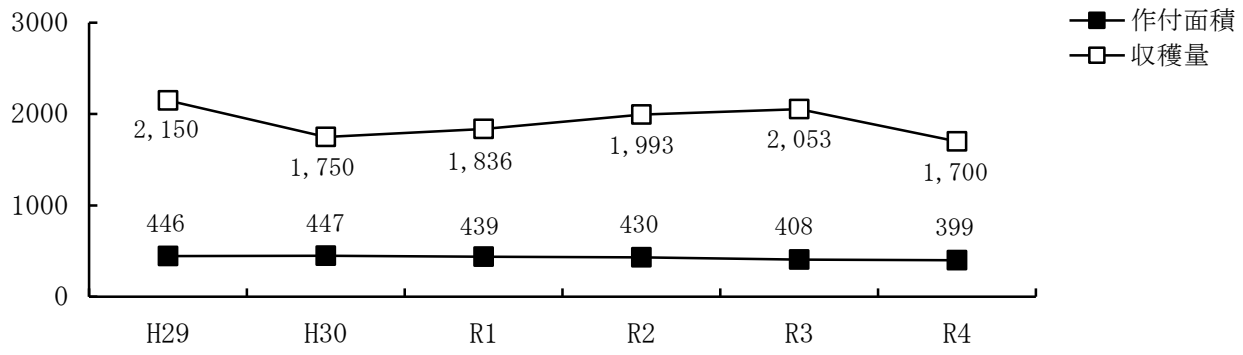
水稲を基幹とした複合経営が展開されており、水稲の作付面積及び収穫量は全道的に見ると少ないものの、主食用米である「ななつぼし」と「ゆめぴりか」は、全国食味分析鑑定コンクールや各種コンテストにおいて最高賞を受賞するなど、北海道内屈指の高品質米生産地として高い評価を受けている。

転作作物として、小麦、そば、大豆、南瓜、スイートコーンなど多くの種類の作物を生産しており、「YES！クリーン」を取得しているピーマンは、特に安全・安心な留萌産農産物として関東圏のイトーヨーカ堂を中心に出荷されている。また、北海道が提唱した「麦チェン」運動に積極的に関わり、関係機関と連携を図る中で、国内品種の中でも希少で、パスタ適性に優れた硬質小麦「ルルロッソ」の試験栽培に取り組んでいる。

一方、花きについては、生産者は少ないながらも、ハウス栽培を主とした作付けを行っており、留萌市における夏の冷涼な気候と高度な栽培技術によって育てられたトルコギキョウは関東や関西で高い評価を得ている。

＜水稲作付面積及び収穫量＞

	平成 29 年	平成 30 年	令和元年	令和２年	令和３年	令和４年
作付面積（ha）	446	447	439	430	408	399
収 穫 量（ｔ）	2,150	1,750	1,836	1,993	2,053	1,700



出典：農林水産課

［留萌市農村交流センター（風土工房こさえーる）］

市街地から国道 233 号を深川方面に 10 kmほどの所に位置する、都市住民と農業者の交流拠点施設で、施設内には研修室、加工室、調理実習室、物産展示コーナーがあり、留萌でとれた食材を使ったトマトジュース、そば、豆腐、味噌、パンなどの農産加工体験や大型乾燥機による乾燥加工品などができる。

［幌糠農業・農村支援センター］

廃校舎を活用した農業、農村の課題解決を図る施設で、農業施策の推進に向けた各種事業の実施のほか、地域農業推進に向けた関係機関との連携による担い手対策、支援に取り組んでいる。

センター内には、農産加工品の開発・生産設備が整っており、切り干し大根など地元農産物を活用した加工品生産も行っている。

また、グラウンドには耐雪型３重ハウスが２棟建設されており、葉物野菜を中心とした水耕栽培などにも取り組んでいる。

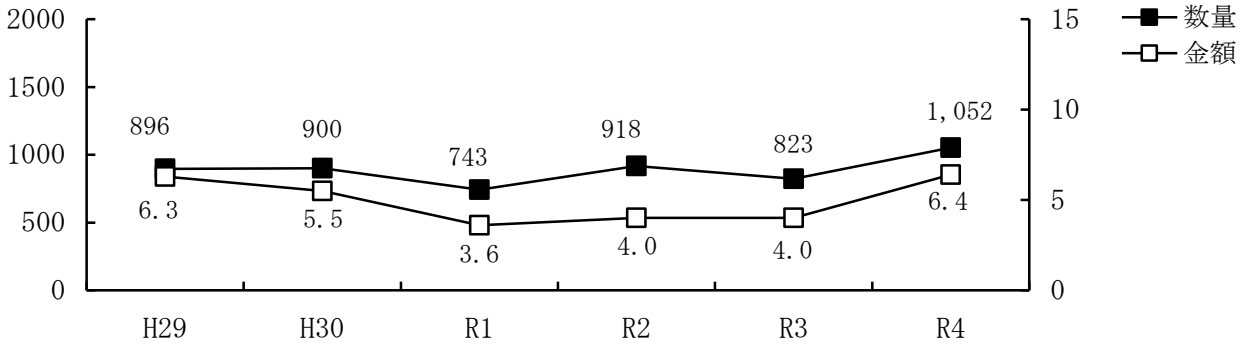
（２）漁業

留萌市の漁業は、エビ、カレイを主体とする沖合漁業、サケ、タコ、ナマコ、ウニを主体とした沿岸漁業が中心で、また、外来イカ釣り漁船の寄港地でもあり、令和２年の取扱高は数量で918 トン、金額で４億０千万円となっている。

近年、ナマコの魚価単価が高騰していることから、ナマコは当市において貴重な漁業資源となっているため、「東海大学」や「公立はこだて未来大学」と、それぞれ漁協・市との産学官連携により、資源の増大や資源管理など、効率的な操業体制の確立に向けた共同研究に取り組んでおり、種苗生産技術の確立と資源管理の徹底が図られている。

＜年間漁獲高＞

	平成 29 年	平成 30 年	令和元年	令和２年	令和３年	令和４年
数　量（ｔ）	896	900	743	918	823	1,052
金　額（億円）	6.3	5.5	3.6	4.0	4.0	6.4



出典：農林水産課

（３）商業

令和３年の経済センサス―活動調査結果では、商店数は 273 件、従業員数は 1,797 人となっており、平成 11 年との比較では、商店数は 189 件（59.1%）、従業員数では 1,080 人（62.5%）、とそれぞれ大きく減少しているが、平成 26 年調査からはそれぞれ増加傾向にある。

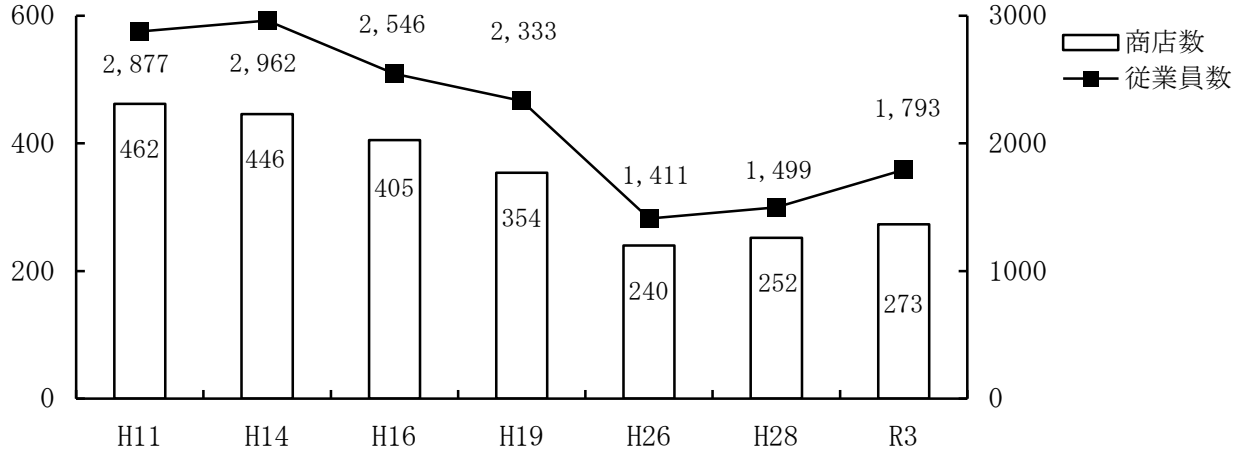
消費者の購買動向については、インターネット・通信販売の普及に伴う販売ルートの多様化や都市部への流出などにより地元店舗での購買が減少する中、ウクライナ侵攻の長期化などに加え、原油高・物価高騰に伴い、原材料費や仕入れ価格も高騰しており、小規模事業者の経営環境は厳しさを増している。

さらには経営者の高齢化や後継者不足からの廃業により、中心市街地の空洞化が進んでいることから、空き店舗の利活用や中心市街地の活性化に向けた地域の主体的な取り組みが課題となっている。

＜商店数、従業員数＞

		H11 年	H14 年	H16 年	H19 年	H26 年	H28 年	R3 年
卸売・小売業	商店数（件）	462	446	405	354	240	252	273
	従業員数(人)	2,877	2,962	2,546	2,333	1,411	1,499	1,797

※飲食店（一般食堂、ラーメン店など）を除く
※従業員４人以上の事業所
※新調査への移行により、平成２６年度で商業統計は終了
※平成２８年は経済センサス―活動調査を参照



出典：留萌市統計書、経済センサス―活動調査

（４）工業・水産加工業

本市の製造業は、水産加工業を中心とした食料品製造を柱として発展し、中でもかずの子製造については、令和４年の生産高で年間 1,461 トン、約 68 億円と加工品生産高全体の約 68％を占め、特に塩かずの子の生産量は、全国シェアの半分近くを占めるなど、市の主力水産加工品となっている。

しかし、近年は、かずの子の消費の減少と共に、市内の生産量も下降傾向が続いていることから、平成 28 年 9 月に、市議会議員提案による「留萌市かずの子条例」を制定するなど、留萌市全体で「かずの子のマチ るもい」として、かずの子の消費拡大をＰＲしている。

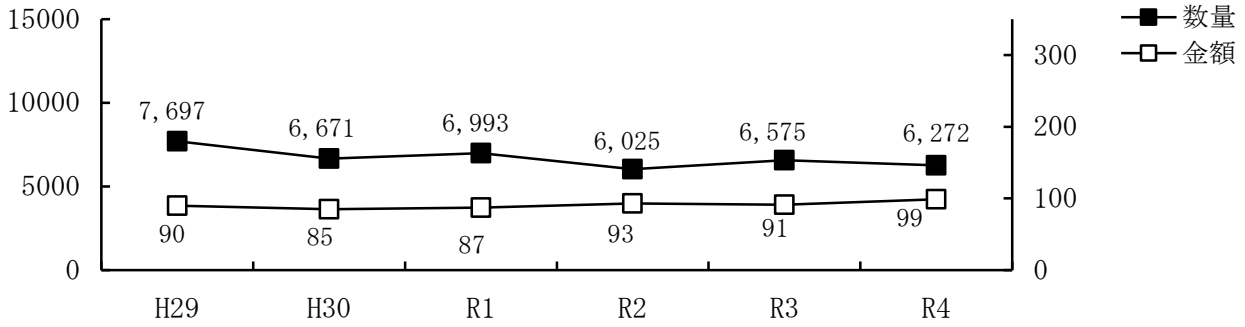
令和 2 年の工業統計調査結果では、事業所数は 16 件、従業者数は 745 人、製造品出荷額は 85 億円となっており、平成 22 年との比較では、事業所数は 40.7％減、従業者数は 28.6％減、製造品出荷額は 51.1％減となっている。

事業所数、従業者数、製造品出荷額において平成 22 年数値から減少傾向にあり、産業構造の変化などに対応した振興策が課題となっている。

また、地場中小企業の経営基盤は脆弱であり、従業員の高齢化や後継者不足、技術革新や情報化の遅れなど、多くの問題を抱えている。

＜水産加工製品生産高＞

	平成 29 年	平成 30 年	令和元年	令和 2 年	令和 3 年	令和 4 年
数　量（ｔ）	7,697	6,671	6,993	6,025	6,575	6,272
金　額（億円）	90	85	87	93	91	99



出典：農林水産課

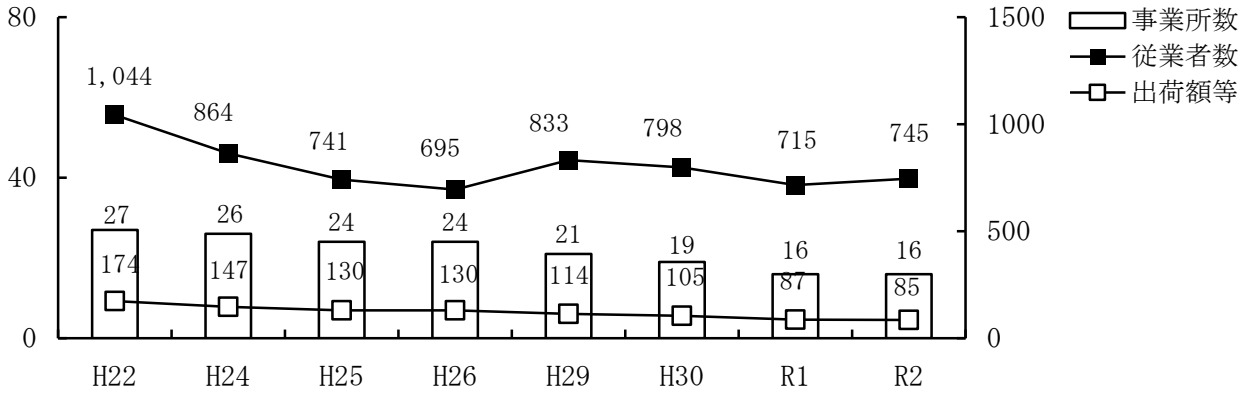
＜事業所数、製造品出荷額＞

	H24 年	H25 年	H26 年	H29 年	H30 年	R 元年	R2 年	R3 年
事業所数（件）	26	24	24	21	19	16	16	17
従業者数（人）	864	741	695	833	798	715	745	695
出荷額等（億円）	147	130	130	114	105	87	85	87

※事業所数・・・4 人以上の事業所数

※調査期日については、平成 26 年までが 12 月 31 日であるが、平成 29 年から 6 月 1 日となった。事業所数と従業者数は 6 月 1 日現在の数値であるが、出荷額等は前年（1 月~12 月）の数値となる。

※令和２年をもって、工業統計調査は廃止となったため、令和３年からは経済センサス－活動調査を参照。



出典：留萌市統計書

（５）観光

留萌管内の観光の特徴は、夏に入込みが集中し、日帰り客が大部分を占める「夏季集中・通過型」となっており、通年・滞在型観光への移行が課題となっている。

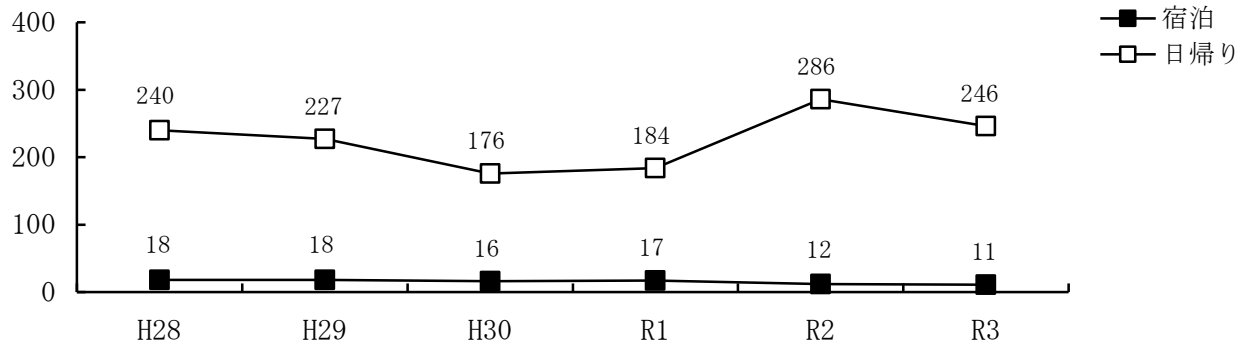
市内の主な観光スポットである黄金岬海浜公園、沖見海浜公園（海水浴場：ゴールデンビーチるもい）や千望台、海のふるさと館などの観光施設に平成 21 年度から指定管理者制度を導入し、民間のノウハウや発想を活かした効率的な管理運営とサービスの充実を図っている。

また、北海道縦貫自動車道と直結する高規格幹線道路深川・留萌自動車道の全線開通により道央圏からのアクセスが飛躍的に向上したことから、令和２年７月にオープンした道の駅るもいは、入場者数は開業から令和３年３月までの９か月間で２５万人を超え、新型コロナウイルス感染症の影響もある中で、市内外から様々な方々が訪れ、新たな賑わい創出が図られている。

さらに、令和４年４月２９日には道の駅施設内に新たに「屋内交流・遊戯施設」が供用開始され、交流人口の増加が期待される中、令和４年１０月には「モンベルアウトドアヴィレッジるもい構想」が策定され、道の駅るもいを核としたアウトドアツーリズムによる新たな観光誘客を図るなど、留萌管内の豊かな自然環境や食などの魅力的な地域資源の活用や広域連携による観光・物産振興が進められている。

＜観光客入込状況＞

	平成 28 年度	平 成 29 度	平成 30 年度	令和元年度	令和２年度	令和３年度
観光客総数（千人）	258	245	192	201	298	257
うち宿泊	18	18	16	17	12	11
うち日帰り	240	227	176	184	286	246
うち海水浴	73	65	34	33	38	0



出典：経済港湾課

① 主な観光施設

[黄金岬海浜公園]

かつてニシンの見張り台でもあった岬は、夕陽に映し出された群来（ニシンの群）がきらきらと黄金色に輝きながら岸をめがけて押し寄せたことから「黄金岬」と呼ばれるようになった。

黄金岬は、柱を積み重ねたような荒々しい奇岩が幾つも並ぶ独特な景観を持つ海岸で、沖に沈む夕陽は、全てのものを染めつくし、その眺めは「日本一の落陽」と訪れる多くの人々を感動させている。

また、岩礁から岩礁を渡る桟橋が整備されており、大人も子供も磯遊びを楽しむことできる。

[沖見海浜公園（海水浴場：ゴールデンビーチるもい)]

南北と中央にある３つの突堤と潜堤（水中リーフ）に囲まれた波の静かな人工海水浴場で、夏には、市内外から多数の海水浴客がここを訪れ、道北の短い夏を楽しんでいる。

７月上旬にはビーチバレーの大会が開催され、シーズン中はバナナボートなどのマリンスポーツが体験できる。

[海のふるさと館]

黄金岬の背後の高台にある郷土資料館。

「学ぶ・遊ぶ・憩う」をテーマに、施設内には留萌の歴史を道具や映像・レプリカ等によって再現している常設展示室、日本海を一望できる展望ラウンジなどがある。

指定管理者の主催により、ホールでのコンサート開催など多様なイベントが実施されている。

［道の駅るもい］

令和２年７月にオープンした道の駅るもいは、施設内で 7.8ha の広大で開放的な芝生公園やパークゴルフ場、ドッグランなどを楽しむことができるほか、地元食材を用いたグルメを楽しめるチャレンジショップ、旧留萌駅の面影を再現した留萌駅そば、カフェも営業している。

季節毎のイベント開催の会場としても活用され、観光資源や地域特産品の情報発信拠点として観光コンシェルジュが常駐しており、地域の活性化をもたらしている。

また、令和４年４月には新たに親子や家族で時間を過ごすことができる屋内交流・遊戯施設「ちゃいるも」がオープン。施設内には複合遊具などで遊べる「遊戯広場」、地場商品を紹介するカフェやアンテナショップが営業しており、大人から子どもまで楽しめる施設となっている。

［礼受牧場］

白い風車をバックに臨む日本海や暑寒別岳の眺望は素晴らしく、毎年大勢の市民や観光客が訪れる。

特に５月下旬から６月中旬にかけて白い風車（9 基）の下に咲き誇る黄色い菜の花、青い海、緑の牧野、そして暑寒別岳の白い残雪が織り成すコントラストは、他では見られない絶景である。

また、レストハウスである畜産館周辺では、地場の海の幸・山の幸による「るもい浜焼き」も楽しめる。

［千望台］

「広く海を見渡し、千里の彼方まで望みが届くように」との思いを込めて名付けられた千望台は、市の南側、海抜 180mのなだらかな丘陵地帯で、留萌港を中心に広がる市街地を一望でき、夕景や夜景は訪れるものを魅了する。

北の水平線には国定公園の天売島・焼尻島の島影、透明度の高い日には利尻島のシルエットが浮かび、南には暑寒別国定公園の秀峰が望める。

千望台の奥には、「るるもっぺ憩いの森」があり、森林浴やバードウォッチングが楽しめる。

［神居岩公園］

市街地から東へ 3 キロの山間に造られた広大な敷地の公園で、36 ホールのパークゴルフ場、キャンプ場、アスレチック遊具など、アウトドア施設が充実している総合公園。

21 世紀の桜の丘には、約 1,000 本の桜が植樹されており、春には丘一面に淡いピンクの桜が咲き乱れます。秋は紅葉狩りも楽しめる。

② 留萌のイベント

［るもい呑涛まつり（７月下旬）］

留萌最大の夏のイベントであり、初日は特設会場が設置され、ステージアトラクションや抽選会、フィナーレには花火を打ち上げる前夜祭を開催。毎年、市内外から多くの人が集まる。

2 日目には、大小十数基のあんどん行列と約 500 人のハネトが熱狂乱舞する迫力満点の「やん衆あんどん」が市内目抜き通りを練り歩く。

また、各商店街による協賛催事（ビアガーデンや抽選会等）もあり、まちをあげて行われるまつりである。

［萌っこ春待里（３月上旬）］

「みんなで楽しもう」、「みんなの手で創り上げよう」を合言葉に開催される市民手作りのイベント。

子供を乗せたボブスレーを親が引いて走る「なかよし親子バトル」や雪上を「にしん船」が走る「萌っこばんばレース」などの名物雪上競技のほか、美味しいお店がずらりと並ぶ「グルメ街道」や「大抽選会」など、ちびっ子からお年寄りまで幅広く楽しむことができるお祭りとして、市民に大人気。

［うまいよ！るもい市］

旬の留萌の食を満喫できるイベントが、「道の駅るもい」を会場に開催を予定している。

地場の海産物や農産品、グルメ屋台のほか、海産物の詰め放題」など、美味しく、楽しいアトラクションの開催も予定しており、留萌市民はもとより全道各地から訪れる方で賑わっている。

（６）港湾、物流

留萌港は、昭和 11 年に開港し、昭和 27 年には国の重要港湾に指定され、内陸で生産された石炭、木材の積出港として発展してきた。

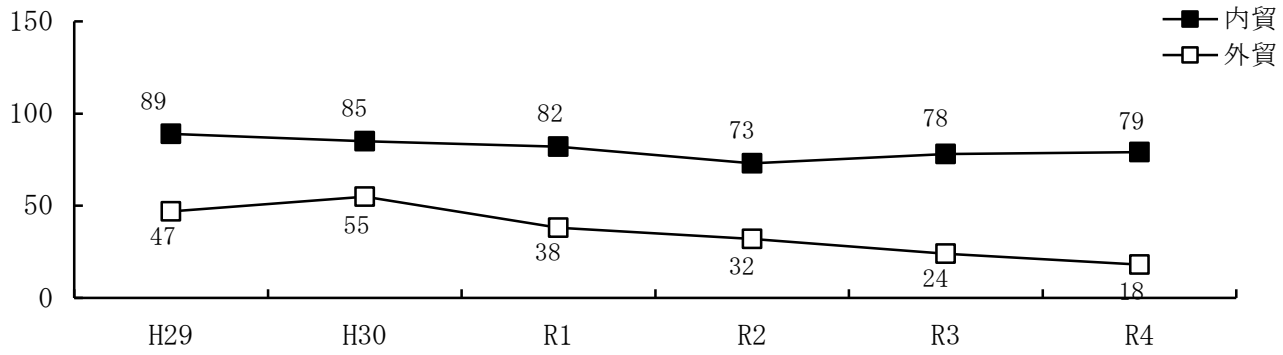
現在の主な取扱貨物は、石油製品、石炭、セメント、木材で、北海道第 2 の都市である旭川市を中心とする上川・空知地方の産業、生活を支える物流拠点として、また、沿岸漁業の基地として重要な役割を果たしている。

平成 19 年に本格供用開始した三泊地区の水深 12m岸壁は、大量低コスト輸送が可能であり、北海道の交通動脈である道央自動車道と直結する「高規格幹線道路深川留萌自動車道」と一体となった利活用により、道北地域経済圏の活性化にますます寄与するものと期待されている。

また、市民や観光客が港や海に親しむための賑わいと潤いのある空間の形成や安全かつ健全な海洋性レクリエーション機能を付加した、港湾空間の整備が求められている。

＜取扱貨物量＞

	平成 29 年	平成 30 年	令和元年	令和２年	令和３年	令和４年
内貿（万トン）	89	85	82	73	78	79
外貿（万トン）	47	55	38	32	24	18



出典：経済港湾課

［デザイン灯台］

平成 19 年 6 月、海洋性レクリエーションゾーンに位置付けている留萌港の大町地区に設置されたデザイン灯台「波灯の女（ひと）」は、ブロンズ素材の世界にも類を見ない珍しい灯台で、留萌のシンボルとして親しまれている。

３．財政状況

（１）令和５年度各会計当初予算

（単位：千円）

会計区分		令和５年度	令和４年度	対前年度比較	
				増減額	伸率(%)
一般会計		14,452,548	13,504,551	947,997	7.0
特別会計	国民健康保険事業	1,962,528	1,887,203	75,325	4.0
	後期高齢者医療事業	400,222	407,510	△7,288	△1.8
	介護保険事業	2,190,594	2,245,055	△54,461	△2.4
	港湾事業	138,402	141,965	△3,563	△2.5
	下水道事業	1,255,733	1,565,094	△309,361	△19.8
	小計	5,947,479	6,246,827	△299,348	△4.8
企業会計	水道事業	1,549,848	1,384,572	165,276	11.9
	病院事業	7,126,961	6,962,502	164,459	2.4
	小計	8,676,809	8,347,074	329,735	4.0
合計		29,076,836	28,098,452	978,384	3.5

※令和４年度の一般会計当初予算は市長改選期のため骨格予算編成である。

（２）令和５年度一般会計当初予算

① 款別内訳

（単位：千円、％）

歳入			歳出		
款	金　額	構成比	款	金　額	構成比
1 市　　税	2,230,362	15.4	1 議会費	104,656	0.7
2 地方譲与税	109,421	0.8	2 総務費	1,752,336	12.1
3 利子割交付金	2,700	0.0	3 民生費	3,816,447	26.4
4 配当割交付金	9,200	0.1	4 衛生費	2,021,329	14.0
5 株式等譲渡所得割交付金	6,200	0.0	5 労働費	6,897	0.1
6 法人事業税交付金	37,600	0.3	6 農林水産業費	228,773	1.6
7 地方消費税交付金	581,000	4.0	7 商工費	352,437	2.4
8 環境性能割交付金	6,700	0.0	8 土木費	2,268,178	15.7
9 国有提供施設等所在市町村助成交付金	393	0.0	9 消防費	377,624	2.6
10 地方特例交付金	5,949	0.0	10 教育費	801,643	5.6
11 地方交付税	5,470,000	37.9	11 災害復旧費	1,000	0.0
12 交通安全対策特別交付金	2,000	0.0	12 公債費	1,242,600	8.6
13 分担金及び負担金	21,584	0.2	13 諸支出金	12,000	0.1
14 使用料及び手数料	290,515	2.0	14 職員給与費	1,446,628	10.0
15 国庫支出金	1,840,972	12.7	15 予備費	20,000	0.1
16 道支出金	776,035	5.4			
17 財産収入	23,099	0.2			
18 寄附金	1,200,000	8.3			
19 繰入金	603,884	4.2			
20 繰越金	1	0.0			
21 諸収入	232,733	1.6			
22 市　　債	1,002,200	6.9			
歳入合計	14,452,548	100.0	歳出合計	14,452,548	100.0

② 性質別内訳

［歳　入］

（単位：千円）

区　　分		令和５年度	令和４年度	対前年度比較	
				増減額	伸率(%)
自主財源	市　　税	2,230,362	2,202,758	27,604	1.3
	分担金及び負担金	21,584	21,401	183	0.9
	使用料及び手数料	290,515	380,134	△89,619	△23.6
	財産収入	23,099	21,515	1,584	7.4
	寄附金	1,200,000	800,365	399,635	49.9
	繰入金	603,884	168,298	435,586	258.8
	繰越金	1	1	0	0.0
	諸収入	232,733	547,432	△314,699	△57.7
	小　　計	4,602,178	4,141,904	460,274	11.1
		31.8%	30.7%	48.6%	
依存財源	地方譲与税	109,421	112,432	△3,011	△2.7
	利子割交付金	2,700	3,300	△600	△18.2
	配当割交付金	9,200	5,200	4,000	76.9
	株式等譲渡所得割交付金	6,200	5,900	300	5.1
	法人事業税交付金	37,600	21,400	16,200	75.7
	地方消費税交付金	581,000	531,000	50,000	9.4
	環境性能割交付金	6,700	6,900	△200	△2.9
	国有提供施設等所在市町村助成交付金	393	393	0	0.0
	地方特例交付金	5,949	8,600	△2,651	△30.8
	地方交付税	5,470,000	5,422,800	47,200	0.9
	交通安全対策特別交付金	2,000	2,200	△200	△9.1
	国庫支出金	1,840,972	2,016,568	△175,596	△8.7
	道支出金	776,035	665,754	110,281	16.6
	市　　債	1,002,200	560,200	442,000	78.9
	小　　計	9,850,370	9,362,647	487,723	5.2
		68.2%	69.3%	51.4%	
歳入合計		14,452,548	13,504,551	947,997	7.0
		100.0%	100.0%	100%	

［歳　出］

（単位：千円）

区　　分		令和５年度	構成比	令和４年度	対前年度比較	
					増減額	伸率(%)
消費的経費	人件費	1,803,221	12.5	1,707,918	95,303	5.6
	物件費	1,899,525	13.2	1,625,752	273,773	16.8
	維持補修費	858,897	5.9	873,372	△14,475	△1.7
	扶助費	2,586,964	17.9	2,510,695	76,269	3.0
	補助費等	2,749,240	19.0	2,344,626	404,614	17.3
	小　　計	9,897,847	68.5	9,062,363	835,484	9.2
投資的経費	補助事業	441,650	3.1	485,575	△43,925	△9.0
	単独事業	547,591	3.8	160,440	387,151	241.3
	直轄事業負担金	64,454	0.4	0	64,454	0.0
	災害復旧事業	1,000	0.0	1,000	0	0.0
	小　　計	1,054,695	7.3	647,015	407,680	63.0
貸付金		94,680	0.6	146,040	△51,360	△35.2
投資及び出資金		378,445	2.6	389,465	△11,020	△2.8
公債費		1,242,579	8.6	1,249,217	△6,638	△0.5
繰出金		1,222,512	8.5	1,199,536	22, 976	1.9
その他		561,790	3.9	810,915	△249,125	△30.7
歳　出　合　計		14,452,548	100.0	13,504,551	947,997	7.0

（３）主な財政指標

（単位：千円）

区　　分		平成 30 年度	令和元年度	令和２年度	令和３年度
標準財政規模		7,490,569	7,459,883	7,622,449	7,909,309
	うち標準税収入額	2,709,541	2,676,409	2,790,395	2,670,772
財政力指数（３ヵ年）		0.323	0.323	0.325	0.318
経常収支比率（%）		93.9	96.7	94.6	90.6
実質収支比率（%）		2.9	3.9	3.8	7.2
公債費比率（%）		9.7	9.8	5.3	5.7
健全化判断比率					
	実質赤字比率（%）	－	－	－	－
	連結実質赤字比率（%）	－	－	－	－
	実質公債費比率（%）	14.0	14.3	12.5	10.9
	将来負担比率（%）	78.4	74.7	56.3	35.0

４．行政組織

（１）職員の定数及び配置状況

（令和５年４月１日現在）

区　　分	定　数	実　数
市長部局（特別職は除く）	180	154
議会事務局	5	4
選挙管理委員会	3	2
監査委員会	3	3
農業委員会	3	1
教育委員会	42	33
水道事業	25	11
病院事業（病院長は除く）	327	287
合　　計	588	495

（２）職員給与

区　　分		初　任　給	平均給与月額	平均年齢	ラスパイレス指数（令和４年４月１日）
一般行政職員	大学卒	185,200 円	323,218 円	41 歳 1 月	95.5
	高校卒	154,600 円			

留 萌 市 機 構 図（令和5年4月1日現在）

- 市　長
  - 副　市　長
    - 44　総務部
      - 参与（行財政改革担当）
      - 13　総務課
        - 総務係　4
        - 主査（デジタル推進担当）　1
        - 主査付　1
        - 人事研修係　3
        - 課付　3
      - 3　危機対策室
        - 主査　1
        - 主査付　1
      - 8　財務課
        - 主幹（契約担当）　1
        - 財政係　4
        - 契約係　2
      - 参事（行財政改革担当）
      - 5　管財課
        - 管財係　2
        - 地籍調査室
          - 室長
          - 主査　1
          - 主査付　1
      - 14　税務課
        - 市民税係　5
        - 資産税係　3
        - 収納係　5
      - 市史編さん室
    - 31　地域振興部
      - 8　政策調整課
        - 政策調整係　6
        - 主査　1
      - 0　参事（地域戦略担当）
        - 主幹（健康・スポーツ担当）
        - 【民間企業派遣】
        - 主査
        - 主査付
      - 2　ふるさと納税推進課
        - ふるさと納税係　2
      - 8　農林水産課
        - 主幹（産業施設推進担当）　1
        - 農林係　4
        - 水産係　2
        - 経営農業農村支援センター
      - 10　経済港湾課
        - 参事（観光担当）
        - 【民間企業派遣】
        - 主幹（港湾維持管理担当）　1
        - 経済振興係　3
        - 観光物産係　2
        - 港湾振興係　3
      - 2　衛生組合担当
        - 参事付主査　1
    - 49　市民健康部
      - 10　社会福祉課
        - 参事（保護・生活困窮者担当）　1
        - 社会福祉係　4
        - 保護指導係　3
        - 主査　1
        - （生活困窮者自立支援担当）
      - 11　市民課
        - 戸籍住民係　3
        - 保険給付係　5
        - 後期高齢者医療係　2
      - 16　保健医療課
        - 参事（感染症対策・保健行政デジタル推進担当）　1
        - 保健医療係　4
        - 保健指導第1係　7
        - 保健指導第2係　3
      - コホートピア推進室
        - 室次長
        - 主査
        - 主査付
      - 5　介護支援課
        - 介護保険係　4
      - 6　地域包括支援センター
        - 主幹　1
        - 地域包括支援センター　5
    - 37　都市環境部
      - 11　都市整備課
        - 課長補佐　1
        - 管理係　4
        - 土木第1係　1
        - 主査　1
        - 土木第2係　3
        - 見晴通事業推進室
      - 6　建築住宅課
        - 建築指導係　2
        - 主査　1
        - 住宅管理係　2
      - 14　上下水道課
        - 参事（技術担当）　1
        - 管理係　3
        - 営業係　3
        - 上水道係　5
        - 下水道係　1
        - （再任用短時間 1）
        - 浄化センター
      - 5　環境保全課
        - 環境保全係　4
        - 美サイクル館

- 会計管理者
  - 4　会計課
    - 会計係　3
    - （再任用短時間 1）
- 市議会
  - 4　事務局
    - 次長　1
    - 主査　1
    - 局員　1
- 選挙管理委員会
  - 2　事務局
    - 次長　1
    - 庶務係　1
- 監査委員
  - 3　事務局
    - 監査係　2
- 農業委員会
  - 1　事務局
    - 農地係　1
- 公平委員会
  - 事務局

- 教育委員会
  - 教育長
    - 33　教育部長
      - 9　教育政策課
        - 庶務係　3
        - 学務係　5
      - 3　生涯学習課
        - 生涯学習係　2
      - 10　子育て支援課
        - 子育て支援係　4
        - 主査　1
        - （子ども家庭支援担当）
        - 子育て支援センター　1
        - 児童センター　3
      - 8　子ども発達支援センター
        - 子ども発達支援センター　7
      - 2　給食センター
        - 業務係　1

- 市立病院
  - 病院事業管理者
    - 院長
      - 1　副院長
      - 26　事務部
        - 15　総務課
          - 総務係　3
          - 経営財務係　2
          - 人事研修係　6
          - 管理係　3
        - 10　医事課
          - 医事係　3
          - メディカルサポート係　1
          - 診療情報システム室診療情報係　2
          - 診療情報システム室施設システム係　2
      - 44　診療部
        - 消化器内科　3
        - 循環器内科　3
        - 小児科　2
        - 外科　1
        - 整形外科　2
        - 眼科　1
        - 研修医　4
        - リハビリテーション科　22
        - 栄養管理科　4
      - 35　診療技術部
        - 診療放射線科　10
        - 臨床工学科　11
        - 臨床検査科　13
      - 10　薬剤部
        - 薬剤科　9
      - 1　医療安全推進室
        - 科長　1
      - 170　看護部
        - 157
        - 9　医療連携室
          - 医療相談係　4
          - 医療連携係　4
      - 東雲診療所

Ⅱ　議 会

１．議会の構成

（１）構成

（２）議員数

区分	議員数	説　　明
条例定数 （現　員）	１４人 （１４人）	現行定数改正日　平成 30 年９月 28 日　条例第 15 号 （令和元年５月１日より現在の議員数） 任期　令和５年５月１日～令和９年４月 30 日

①　党派別内訳

党派別	立憲民主党	公明党	日本共産党	自民党	無所属
議員数	１人	２人	１人	０人	１０人

②　会派別内訳

会派名	萌芽クラブ	萌政会	留萌公明党	未来クラブ	無会派
議員数	４人	３人	２人	２人	３人

③　年齢別内訳

（令和５年５月１日現在）

年齢	30～39	40～49	50～59	60～69	70 以上
議員数	１人	３人	３人	５人	２人

④ 当選回数別内訳

当選回数	1	2	3	4	5	6	7	13
議員数	５人	２人	２人	１人	１人	１人	１人	１人

⑤ 議員名簿

（令和５年５月１２日現在）

議席順序	氏　　名	年令	所属委員会・役職				当選期数	所属会派
			第１	第２	広報広聴	議会運営		
1	宇川　達朗	37	副委員長		○		1	萌政会
2	村上　雅彦	66	○		○		1	無会派
3	田村　裕樹	42		副委員長		○	1	萌芽クラブ
4	川村　忠司	42		○	○		1	萌芽クラブ
5	議長 燕　　昌克	53		○			4	萌政会
6	横田　美樹	45		○	○	委員長	2	萌政会
7	鈴田　亜湖	52	○		○		1	萌芽クラブ
8	小野　敏雄	69	○				5	萌芽クラブ
9	小沼　清美	66		○	委員長		2	無会派
10	戸水美保子	71	委員長		副委員長		3	留萌公明党
11	米倉　靖夫	57		委員長		○	3	未来クラブ
12	副議長 村山ゆかり	61	○		○		6	未来クラブ
13	野崎　良夫	81	○				13	無会派
14	村上　　均	66		○		副委員長	7	留萌公明党

２．委員会

（１）常任委員会（任期２年）

委員会名	定数	所　管　事　項
第１常任委員会	７人	・ 総務部の所管に関する事項 ・ 地域振興部の所管に関する事項 ・ 都市環境部の所管に関する事項 ・ 会計課の所管に関する事項 ・ 選挙管理委員会、監査委員、公平委員会及び農業委員会の所管に関する事項 ・ 他の常任委員会の所管に属しない事項
第２常任委員会	７人	・ 市民健康部の所管に関する事項 ・ 教育委員会の所管に関する事項 ・ 市立病院の所管に関する事項
議会広報広聴常任委員会	８人	・ 議会広報誌の編集及び発行に関する事項 ・ ホームページやラジオなどの活用による議会の広報に関する事項 ・ 意見交換会及び意見箱による議会の広聴に関する事項 ・ その他議会の広報及び広聴に関する事項

（２）議会運営委員会（任期２年）

委員の定数は、議会の議決で決定し構成する。なお、正副議長は委員会に出席するものとする。

（３）特別委員会

委員会名	構成	設　置　目　的
予算審査	全議員	予算の審査を行うため （新年度予算は例年３月議会に設置、補正予算は随時設置）
決算審査	議選監査委員を除く全議員	決算の審査を行うため （例年９月議会に設置）

３．議会の活動状況

（１）本会議の開催状況

区分 年次	定　例　会			臨　時　会			合　　計		
	回数	会期日数	会議日数	回数	会期日数	会議日数	回数	会期日数	会議日数
令和２年	4	41	16	6	6	6	10	47	22
令和３年	4	39	17	4	4	4	8	43	21
令和４年	4	40	16	6	7	7	10	47	23

①　令和４年の開催状況

区　分	会　　期	会議日数	一般質問者数	傍聴者数
第１回定例会	3 月 15 日～ 3 月 25 日　(11 日間)	４日	８人	０人
第２回定例会	6 月 7 日～ 6 月 15 日　(9 日間)	４日	７人	４人
第３回定例会	9 月 6 日～ 9 月 16 日　(11 日間)	４日	８人	３人
第４回定例会	12 月 6 日～12 月 14 日　(9 日間)	４日	７人	７人
第１回臨時会	1 月 27 日～ 1 月 28 日　(2 日間)	２日		０人
第２回臨時会	2 月 17 日　(1 日間)	１日		０人
第３回臨時会	4 月 21 日　(1 日間)	１日		０人
第４回臨時会	5 月 20 日　(1 日間)	１日		０人
第５回臨時会	7 月 12 日　(1 日間)	１日		０人
第６回臨時会	10 月 24 日　(1 日間)	１日		０人
合　　計	47 日間	23 日	30 人	14 人

② 一般質問

・通告期限：定例会前の議会運営委員会の開催日前日（土曜日、日曜日及び祝日を除く。）の午後３時まで

・質問順序：抽選により決定

・通告範囲：理事者において十分な答弁または説明資料が得られる程度に質問項目を具体的に記載

・質問時間：答弁含め 60 分（予備時間 10 分）※新型コロナウイルス感染症予防対策のため、通常 80 分のところを 60 分とした

・発言回数：制限時間内での発言回数は制限なし
初回に統括質問を行い、２回目からは一問一答

・発言場所：初回のみ登壇し、２回目からは質問席で行う

（２）委員会の開催状況

区分／年次	開催日数							合計
	常任委員会			議会運営	特別委員会			
	第１	第２	議会広報広聴		予算審査	決算審査	その他	
令和２年	21	18	15	23	2	2	0	81
令和３年	17	17	13	22	3	2	0	74
令和４年	15	12	9	22	3	1	0	62

① 予算・決算審査特別委員会

・審議方式

予算･･･全議員による予算審査特別委員会を設置し、これに会期中の審査を付託する。
（新年度予算は例年３月議会に設置、補正予算は随時設置）

決算･･･議選監査委員を除いた全議員による決算審査特別委員会を設置し、これに会期中の審査を付託する。

・審査方法：一般会計の歳出は各款毎に、歳入は一括とし、特別会計及び事業会計は歳入歳出一括で行う。

・質疑方法：それぞれの会計及び報告の審査毎に一問一答制とし、発言回数は制限しない。

・質疑時間：答弁を含め、款毎１人 30 分以内とする。ただし、質疑又は答弁の途中で時間を超えた場合は、当該質疑に対する答弁が終了する時点までとする。

（３）審議案件の状況（令和４年）

区分／付議事件		付議件数				議決態様										
		市長提出	議員提出	その他	計	原案可決	修正可決	否決	同意	認定	承認	了	採択	不採択	継続審議	その他
議案	予算	34			34	34										
	条例	16	1		17	17										
	その他	17			17	9			8							
決算認定		3			3					3						
報告		25		4	29						1	28				
諮問		3			3											3
請願																
陳情																
意見書案			19		19	19										
決議案			1		1	1										
選挙																
推せん																

そ　の　他															
合　計	98	21	4	123	80			8	3	1	28				3

４．議員報酬等

（１）議員報酬及び期末手当

区分	月　　額 （平成28年4月1日改正）	期末手当（令和5年4月1日施行）	
		6月	12月
議　長	380,000円	220.0／100	220.0／100
副議長	340,000円		
議　員	310,000円		

≪参考：特別職の給与≫

区分	月　　額 （平成28年4月1日改正）	期末手当（令和5年4月1日施行）	
		6月	12月
市　長	830,000円	220.0／100	220.0／100
副市長	680,000円		
教育長	580,000円		

（２）行政調査経費

常任委員会：行政視察は、第１・第２常任委員会と議会運営委員会・議会広報広聴常任委員会が隔年で実施

予算は、委員一人あたり 13.6 万円（打切り）

（３）政務活動費

会派及び無会派議員に対し、議員一人あたり年額 12 万円を交付

５．議会関係予算（令和５年度当初予算）

（単位：千円）

	節	金　額	説　　明	
議会費 １０４，６５６	１．報　　酬	53,280	議員報酬	53,280
	３．職員手当等	19,536	議員期末手当	19,536
	４．共　済　費	16,588	議員共済負担金	16,588
	７．報　償　費	199	講師謝礼金	199
	８．旅　　費	4,430	費用弁償	3,012
			普通旅費	1,418
	９．交　際　費	300	議長交際費	300
	10．需　用　費	1,120	消耗品費	1,006
			食糧費	22
			印刷製本費	42
			修繕料	50
	11．役　務　費	1,127	通信運搬費	1,063
			広告料	39
			手数料	25
	12．委　託　料	3,571	会議録データベース化委託料	1,977
			議会報作成委託料	750
			議会一般質問 FM ラジオ放送業務委託料	844
	13．使用料及び賃借料	1,220	自動車等借上料	12
			会場借上料	50
			駐車場使用料	18
			ペーパーレス議会システム利用料	990
			レンタルサーバー使用料	37
			グループウェアソフト使用料	113
	17．備品購入費	1,121	図書購入費	10
			機器等購入費	50
			議会用タブレット譲り受け代金	1,061
	18．負担金補助及び交付金	2,164	政務活動費交付金	1,680
			全国市議会議長会負担金	306
			北海道市議会議長会負担金	38
			全国市議会議長会基地協議会負担金	31
			全国自治体病院経営都市議会協議会負担金	18
			各種会議負担金	91

６．議会事務局の構成

（条例定数５人　現員４人）

事務局長（１）―事務局次長（１）―主査（１）―書記（２）

留萌市議会事務局

〒077-8601　北海道留萌市幸町１丁目 11 番地
TEL　　0164-42-1907
FAX　　0164-43-6700
E-mail　rumoishigikai@basil.ocn.ne.jp